

戸田建設「土木の日」技術研究所見学会を開催

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、11月18日の「土木の日」※¹にちなみ、11月18日(金)に(公社)土木学会関東支部との共催で、つくば市立沼崎小学校5年生の児童ら112名を技術研究所(茨城県つくば市)に招き見学会を開催しました。

※¹ 11月18日の土木の日:文字を分解すると「土」→「十一」、「木」→「十八」となる。

見学会冒頭の挨拶では、当社、土田土木工事技術部技術管理課長より「土木は上下水道、道路・鉄道をはじめとした身近なところのほかにも、貯水・発電用ダムや太陽光・風力発電設備の建設を担っており、皆さんの生活を支えている」と土木の役割や魅力を紹介しました。

施設見学では、児童たちに以下のような体験をしていただきました。

- 1)「音響施設(残響室と無響室)」:無響室では、発砲音、児童が風船を割った時の音、一斉に大声を出した時の音など、さまざまな音が吸収されてしまう不思議さを体験、また、一方の残響室では音や声の鳴り響く様子を体験しました。
- 2)「屋上ビオトープ」:自然が自ら再生できるような環境づくりの大切さを学習・体験しました。
- 3)「コンクリートの圧縮強度試験」:試験のため高強度コンクリートが破壊される様子を体験。児童たちは、大きな音に驚いていました。
- 4)「液状化現象の実験」:地震で家が傾いたり、マンホールが浮き上がる被害の原因について実験により学習しました。
- 5)「裏込材※²を用いた混合実験」:シールド工事の充てん材に利用される2つの液体を混合すると次第にゲル化して硬化していく実験をしました。

※² 裏込材:トンネルと地山のすき間を埋めるための注入材。セメント系と水ガラスを混合して作製する。

当社は、子どもたちに「土木」の魅力をアピールし、一層の関心を持ってもらえるよう、今後もこのような見学会を通して「土木」と市民生活との深い関わり合いについて伝えていきます。



写真1 「液状化現象」の学習



写真2 「裏込材のゲル化」を体験学習